

祝辞 設立50周年に寄せて



一般財団法人川崎市保育会が設立50周年を迎えられましたことを、市議会を代表して心からお祝い申し上げます。

昭和44年1月の設立以来、川崎市保育会が半世紀の長きにわたり、園児たちの健やかな成長と本市の保育事業の推進のため、たゆみない歩みを進めてこられたことは、ひとえに近藤理事長をはじめとした、会員の皆様の熱意と努力の賜物であると存じます。改めて深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、近年急速に伸びる保育需要に対し、厚生労働省では、待機児童の解消を目指した「子育て安心プラン」により、令和2年度末までに約32万人分の保育受入枠を確保することを掲げておりますが、その実現にあたっては保育士の確保が必要不可欠といえます。

一方、平成30年11月の有効求人倍率は3.20倍といった状況であり、保育士の確保が喫緊の課題となっております。

このような状況の中、国におきましては、保育士の皆様を支援するべく、給与の改善や職場復帰のための保育実技研修などの取組みを行っているほか、保育補助者の雇用支援やICTの活用による事務の省力化、宿舍の借上げ支援といった勤務環境の改善に向けた取組みも行っているところでございますが、依然として保育士の不足とともに、保育の質の維持向上や早期離職の抑制などといった課題も山積しております。

川崎市保育会の皆様におかれましては、福祉の発展と乳幼児の健全な発育に対する支援を長年行ってこられた、その豊かな経験と知識を活かし、未来の担い手である子ども達が、のびのびと健やかに育ち、誰もが安心して子育てができ、仕事と子育てを両立できる社会の実現に向けて、今後も末永くご活躍を続けられますことを切に願っております。

川崎市議会といたしましても、皆様のご協力を賜りながら、川崎市の保育がより良いものとなりますよう、今後とも全力で取り組んでまいります。

結びに、この記念すべき節目を迎えられました川崎市保育会のさらなるご発展と、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、市議会を代表してのお祝いの言葉とさせていただきます。

川崎市議会議長
山崎直史